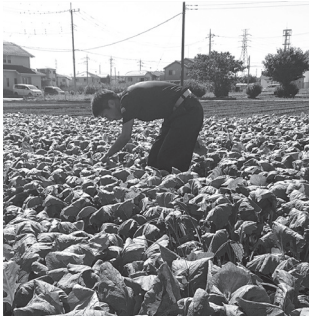


## 都市近郊農業を継承したい



久保田 雅也さん

明治末期から代々続く農家の若い後継者に話を伺いました。



**Q** どのような野菜を作って出荷していますか。

**A** 約一町歩の畑で枝豆、小かぶ、ほうれん草を作っています。私のところでは作った野菜は地元の農協に出荷

しています。他の農家では市内小・中学校の学校給食の材料として出荷しており、地元野菜の地産地消が進んでいると思います。

**Q** 仕事で困っていることや大変なことを教えてください。

**A** 最近では台風や局地的な豪雨などの異常気象により、野菜がダメになり出荷できないこと

があります。また、昨年からの原油高の影響に加え、今年は、円安による物価高で肥料、種、ビニール資材や燃料費の費用がかさみ、ここ数年は野菜を作って出荷しても赤字が続いていることです。

**Q** 農業という仕事を知ってもらうために実践していることを教えてください。

**A** 農業委員の家族が小学校で野菜を育てる手伝いをしています。また、子ども食堂の運営のために野菜を提供しています。

**Q** 市へ何かご意見はありますか。

**A** 担い手が不足していることが課題です。市役所の担当課に専門職員を配置し、相談体制を拡充することが必要だと感じています。

## 子育てしながら在宅で起業

在宅でホームページ制作などを手掛ける個人事業主から話を伺いました。



佐藤 かなえさん

**Q** 仕事の内容を教えてください。

**A** ホームページ制作がメインの仕事です。電話やインターネットで申し込みを受け付けています。基本は対面で気軽に話を

伺って、具体的なイメージを汲み取り、2、3週間で制作します。また、アフターサポートも行っています。その他には名刺やチラシの作成も行っています。

**Q** 仕事を始めたきっかけを教えてください。

**A** 子どもの出産を機に在宅で仕事を始めました。全くの未経験でしたが、インターネットが普及し自由に使えるようになったため、ホームページ制作をやってみようと考えました。

**Q** 仕事でのやりがいは。

**A** 家族の理解があって仕事を続けられたので、家庭を経済的に支えることができたと思います。お客さんのもとにアフターサポートのために訪ねた際に、仕事の評価や感謝の言葉をいただくと、やりがいを感じます。別の仕事を紹介していただいたりすることもあります。

**Q** 大変なことは。

**A** お客さんの要望に応えるために、深夜まで作業が続くことがあることです。

